

# ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

41号  
2021  
2.19

## 京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町  
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142  
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始(12/28~1/4)だけです。

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！見頃の植物情報を中心につぶやいています。



### 第9回 シャドーボックス作品&クラフト展

- 期間：2月12日(金)～2月21日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：「植物」をテーマにシャドーボックスなど約40点を展示

#### 「第16回 早春の草花展」

～春を感じる風の中で～

2月13日(土)～3月14日(日) 10:00～16:00

大芝生地 特設会場にて・・・

～寒さの残るこの季節・・・

一足早く「春の景色」をお届けします！～

### 京都新世代いけばな展2021

- 期間：2月20日(土)～2月23日(火・祝)
- 場所：くすのき並木
- 内容：「#ハナノコキュウ 明日へのエナジー」をテーマに若手華道家の作品を展示

### バラ剪定講習会

- 2月21日(日) 13:30～15:00 (受付13:00～)
- 「四季咲きバラの剪定について」植物園会館2階研修室
- ※講師：日本ばら会京都部会長
- ※ばら園で実技があります。※定員：先着30名

### 第16回 早春の園芸市

- 期間：2月26日(金)～2月28日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：雪割草、サボテン類など話題の植物を集めた園芸市

### 「水曜ミニガイド」 植物園認定が 仆がご案内！

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

### 「園長と園内散歩」

2月28日(日) 何処を歩くかはお楽しみ！

植物園会館前集合：午後2時スタート！

### スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察！

### 第29回 春蘭展

- 期間：3月12日(金)～3月14日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：シュラン約100点及び席飾り5席を展示(販売あり)

### 第34回 早春の山野草展

- 期間：3月19日(金)～3月22日(月)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：早春に咲く山野草約250点を展示
- ◆3/21(日)山野草展関連 講習会  
植物園会館前集合 13:30～15:00  
(当日受付 13:00～)  
「演題未定」 講師：樹木係職員

### 第60回 つばき展

- 期間：3月26日(金)～3月28日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：京都の名椿などツバキの切り枝を展示
- ◆3/27(土)園内つばき探訪  
植物園会館前集合 13:00～13:45  
(当日受付 13:00～)  
「園内のつばき案内」 案内：樹木係職員

### 「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！

### 「植物園ガイド」が植物案内！

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

\* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

### 植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141

### ※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！  
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。  
※温室観覧料は別途必要となります。

### 植物園HP！



# 今週の「探して！」

2021. 2. 19

41号

## ⑫ ペアルケア・ヒポキルティフロラ

イワタバコ科。エクアドル原産。葉は緑褐色で銀白色から赤色の葉脈がよく目立つ。花は葉腋から伸びる花茎の先端に1個つき、蕾は赤い電球のように下を向く。次第に膨らみオレンジ色の風船のようになる。多湿な環境を好む。

## ⑪ セツブンソウ

キンポウゲ科。関東地方以西の本州に分布。節分のころに花が咲くのでこの名が付いた。白い花弁に見える部分はがく片。淡紫色のやくと黄色の蜜腺が目立つ。春にのみ地上に現れるスプリング・エフェメラル(春植物、春の妖精)の一つ。

## ⑩ センナリバナ

バショウ科。ジャワ島やマレー半島で栽培。和名は果実が1,000個もなるということに由来。果実は食用には適さず、自生地でも家畜の飼料用にわずかながら栽培されているだけで、主として観賞用に植物園などで栽培展示されている。

## ⑨ ビオラ

スミレ科。ヨーロッパに自生する野生種から育種され、かつては大輪のものをパンジー、小輪で株立ちになるものをビオラと呼んで区別していた。しかし、現在は複雑に交雑された園芸品種が登場し、区別しにくくなっている。

## ① シナマンサク

マンサク科。中国が原産。日本に自生するマンサクは、春にいち早く開花し、「先ず咲く」花木としてその名が付いたといわれている。シナマンサクはマンサクよりもさらにひと月近く早い厳冬期に、同じ仲間の中で最も大きな花を付ける。

## ② ヘレボルス・オリエンタリス

キンポウゲ科。ギリシャやトルコなどに分布。日本では本種を含む全てのヘレボルス属を総称して「クリスマスローズ」と呼んでおり、その名称で知られている。欧米では冬に咲く「ヘレボルス・ニゲル」のみを「クリスマスローズ」と呼んでいる。

## ③ フクジュソウ

キンポウゲ科。北海道から九州などに分布。黄色のおわん状の花は春先の少ない日の光を中央部に集めて花の中を暖めることで、媒介するハナアブ類を誘い活動を活発にする役割があるともいわれる。スプリング・エフェメラルの一つ。

## ④ 聖護院ダイコン

アブラナ科。約180年前に、聖護院の農家が尾張の代表的な品種である細長い形の「宮重大根」をもとに播種を繰り返して丸形のものを選抜した。非常に品質が良かったため周辺地域に広まり、「聖護院大根」と呼ばれるようになった。

## ⑤ ジャノメリカ

ツツジ科。南アフリカ原産。釣り鐘のような形をした小さな桃色の花を咲かせ、その中心部から飛び出た黒いやくがよく目立つ。その外観が「蛇の目」の模様に見えることが和名の由来。細かい枝をたくさん分枝させる特性がある。

## ⑥ ウメ

バラ科。中国原産。日本への渡来は西暦700年頃といわれ、実を取るためや花を觀賞するために古くから栽培されてきた。万葉集では梅を詠んだ歌が119首あり、桜の40余首を上回る。奈良時代には春の花見はウメを觀賞していた。

## ⑧ ハボタン「紅くじゃく」

アブラナ科。原種はヤセイカンランで、ヨーロッパ西南部の海岸地帯に分布し古くより薬草として用いられ、後にキャベツやブロッコリー、ケールなどの食用に改良された。「紅くじゃく」は、旧ソ連のケールを元に改良された品種。

## ⑦ オオベニゴウカン

マメ科。ブラジル南部、ボリビア原産。実際は小さな花が多数集まったもので、直径5cmほどの球形となる。多数突き出た緋紅色の糸状のものは雄しべで、化粧に使うパフによく似ていることから、英名はレッド・パウダー・パフと呼ばれる。

